

2023年7月24日

NTTファイナンス株式会社が発行する 「NTTグループ グリーンボンド」への投資について

奈良県信用保証協会は、このたび、NTTファイナンス株式会社が発行するグリーンボンド(別称:NTTグループグリーンボンド、以下「本債券」)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、CO₂削減等の環境改善効果を有する事業を対象とする資金調達を行うために発行される債券のことであり、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するグリーンボンド原則に適合する旨、サステナリティクスからセカンドパーティオピニオンを取得されておられます。

NTTグループは、NTT Green Innovation toward 2040を掲げ、2040年におけるNTTグループカーボンニュートラルに向けた取り組みを行っており、本債券の対象グリーンプロジェクトは、新規または既存のNTTグループによる5G関連投資、FTTH関連投資、IOWN⁽²⁾構想の実現に向けた研究開発、再生可能エネルギーとなっています。

当協会は、本債券への投資はCO₂排出量削減やエネルギー効率改善を通じた環境課題の解決、低炭素社会の実現に向けたイノベーション創出に貢献すると考え、投資を決定いたしました。

当協会は、今後も、適切なリスク管理のもとで、本債券を始めとしたグリーンボンド等のESG投資を継続的に実施することで、地域の活性化に向け貢献して参ります。

(1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資。

(2) IOWN(Innovative Optical and Wireless Network): あらゆる情報を基に個と全体との最適化を図り、多様性を受容できる豊かな社会を創るために、光を中心とした革新的技術を活用した高速大容量通信・低消費電力・低遅延のネットワーク・情報処理基盤

以 上